



モユク・カムイ 58

●モユク・カムイとはアイヌ語で「エンタヌキ」のことです。

NO.
MAR 2000



まじやまどうぶつニュース
ASAHIYAMA ZOO NEWS

もくじ

シリーズ
「ぼくは動物大使」
その19 巨大な水陸両用車
カバ 2.3

特集
2000年だよ 全員集合！
旭山動物園
みどころマップ 4.5

飼育研究レポート 6

旭山動物
2000年版カレンダー 7

クイズ
できごと
飼育動物数
編集後記 8

カバ

Hippopotamus amphibius



ぼくは、動物大使

その19 巨大な水陸両用車 カバ

カバ

Hippopotamus amphibius

アフリカ(中央部・南・西・東部)に生息。

母親と子どもを中心とした母系社会で、普通は10~20頭の群れで生活していますが、乾期には100~150頭の群れになることもあります。

日中は湖や沼、河川でのんびり過ごし、夜間は陸にあがり4~6時間かけて30~40kgの草などを食べます。陸上での行動範囲は、ふつう水辺から3km程度ですが、途中に中継地となる水場があれば、最長10km先の餌場まで遠出したのが観察されています。

カバの個体数は、耕地の開発などにより減少傾向にあります。

顔

水中に体を沈めても耳・目・鼻だけ水面に出せる。また水に潜るときは耳と鼻の穴を閉じることができる。

犬歯

長さ50~60cm。オス同士の闘争では最大の武器になり、相手の体にかみつく。時には生死をかけた闘いになる。



大きく開く。オスの争いでは口の開き具合と犬歯の長さで決着がつくこともある。



旭山ZOOのカバファミリー



父 ゴン
1964年
12月20日生まれ
日本の動物園の中で、一番大きい巨体のゴンパパ。



母 ザブコ
1963年
12月2日生まれ
子育て上手なザブコママ。ゴンとザブコは、旭山動物園開園当初からいるご長寿夫婦。



娘 ナミコ
1992年
9月16日生まれ
ゴンとザブコの11頭目の子ども。
今ではザブコとはほとんど見分けがつかないぐらい、大きくなっています。

伝説のカバ夫婦

現在、日本の動物園で飼育されているカバは全部で53頭。そのうちの6割がある1組の夫婦から生まれた子どもたちなのです。その夫婦とは、名古屋市東山動植物園の「重吉」と「福子」です。

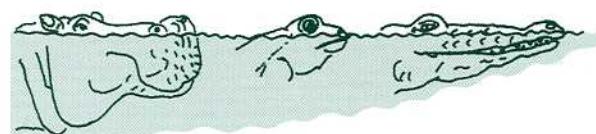
「福子」の足にはピンク色の模様があり、おもしろいことにこの模様は子どもたちに遺伝しました。実は当園のザブコもこの夫婦の子どもなので、足に模様があります。そして、この模様はザブコの娘、ナミコにも遺伝したのです。よその動物園のカバを見て足の模様を見つけたら、この夫婦の子孫だと思って間違いないでしょう。まさに、「重・福ブランド」の証なのです。「福子」は生涯、19頭の子を出産し1997年8月死亡しました。「重吉」は今も健在で、長寿記録を“のっし、のっし”と更新中です。ガンバレ重吉！ありがとう福子。



カバの仲間にはもう1種コビトカバがいます。文字どおりカバを小型にした体格ですが、生態も形態もカバとは違う点が多く、カバの祖先の特徴をそのまま受け継いできた「生きた化石」と言われています。生息数はきわめて少なく絶滅が心配されている動物です。

体重

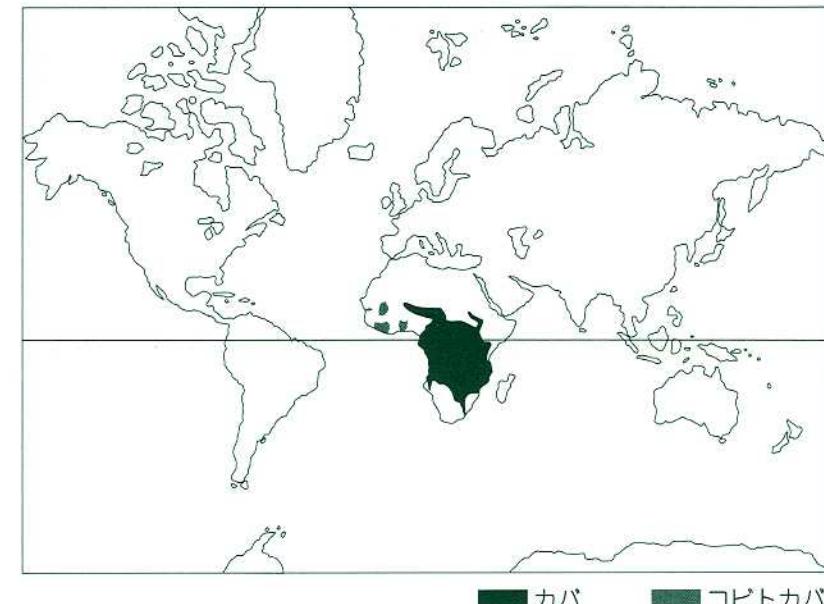
オスで最大3トン以上。メスで1.5~2トン



食物

草食。1日40kgくらい。意外と少食。ほとんど水中にいるのでエネルギーの消費が少ない。

カバ科の分布

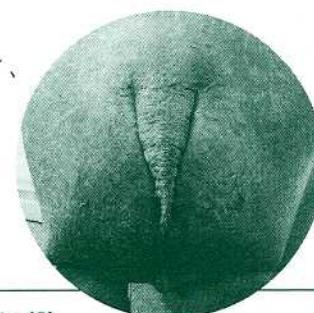


生活

群れで生活。日中は水の中。夜は陸に上がりこきざみにふる。

尾

太くて短い。まき糞のとき、左右にこきざみにふる。



水中

水中では泳ぐのではなく、水底を軽快に歩く。潜水時間は、最長5分くらい。

指

第3指と第4指の間に膜があり、水かきの役目をしている。

出産

群れから少し離れた水辺で産む。1産1子。授乳も水中で行う。

まき糞

カバのオスは糞と尿を混ぜ合わせて、短い尾をブンブンふって、あたりにまき散らしたり、糞塚をつくります。これは、夜餌場から戻ってくる時に、迷わないためのいわば“道しるべ”なんです。

また、なわりの主張や相手を威嚇する時にも、はでに糞をまき散らします。

デリケートな肌には泥パックと赤いクリーム？！

カバの皮ふは、きわめて薄い表層(角質層)と分厚い上皮と真皮、その下に3~5cmもある脂肪層からできています。上皮と真皮の厚さは、厚い胸部で4cm、薄い腹部で1.5cmあり、ゾウやサイの平均1cmと比べてもずば抜けて厚いのですが、表層が極端に薄いため、表面が乾燥すると皮ふは簡単に裂けてしまします。それに外気中での皮ふからの水分消失率は、人間の3倍以上とかなり高いので、カバにとって泥浴びは皮ふの水分消失を少なくするためには、かかせない行動の一つです。

また、カバは皮ふの表面を保護する皮脂腺や、体温を調整する汗腺がありません。その代わりに赤くねばねばした液体を分泌する腺があります。この分泌液はアルカリ性で、赤い色素は紫外線を通さず、まさに皮ふを保護するカバの肌クリームとなるのです。一般に〈カバは血の汗をかく〉と言われるのはこの分泌液のことなのです。

また、この分泌液は細菌の感染を防ぐ働きももっているので、傷ついたまま泥に入ってしまうことはありません。

一見、とても丈夫そうなカバですが、実はデリケートな敏感肌の持ち主なんですね。

2000年だよ 全員集合!! 旭山動物園 みどりこうマップ!!

①ととりの村

フラミンゴ

あなたが右むきや
わたしも右に
あなたが走れば
わたしも走る。
フラミンゴは団体行動派なのです。



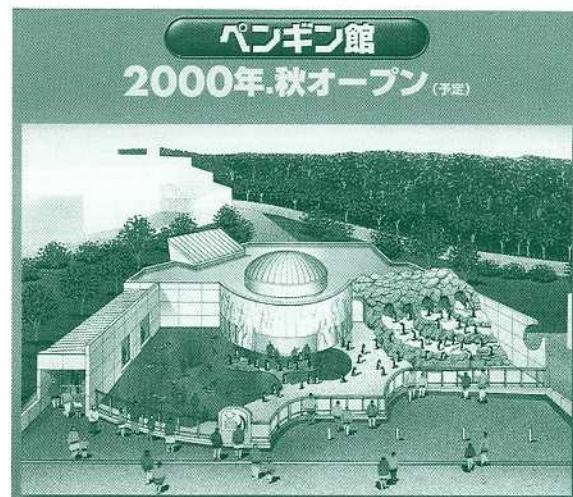
ガン・カモ・ サギ・ハクチョウ

ハクチョウが向かい合うと、
そこに♥ができるのです。



②ペンギン館

水中トンネルからみたペンギンはどんなだろう?
楽しみだね!



③もうじゅう館

[ライオン・トラ・ヒョウ・ヒグマ]

昨年生まれた4頭のチビライオンは、ちょっと
あどけなくかなりたくましくなりました。



Ⓐ せせらぎ

Ⓑ ステージ

Ⓒ 1F 動物資料展示館
2F 動物図書館

Ⓓ 事務所

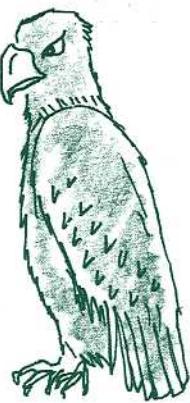
④ゴマファザラシ

よく見ると顔やもよう
が全然違う。あなたは全頭
見分けられるかな?



㉔ ワシ・タカ

そんな恐い目で見ないで!
鳴き声はカワイイことみんなに
言っちゃうよ。



⑤小獣舎

[キツネリス・レッサーパンダ・
ウンピョウ・オセロット・ヤマアラシ]

レッサーパンダを見ると誰もが笑顔になって
こう言います。「持って帰りたい!」



㉓こども牧場

㉑ キリン

ながーい舌で鼻の穴
もそうじできちゃう!



㉒ シロサイ

体はでかいが走ると軽快。
つぶらな瞳がチャームポイント。



⑯ マルミミゾウ

アフリカゾウよりちょっと
小さい。実は日本に3頭しか
いない珍しいゾウなんだよ。



㉔ ワシ・タカ

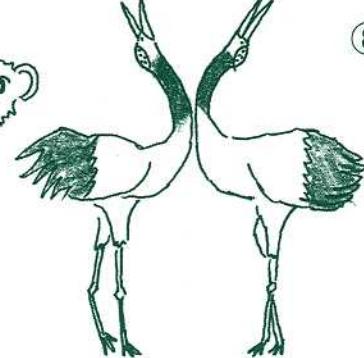
水中トンネルからみたペンギンはどんなだろう?
楽しみだね!

正面



⑥タンチョウ

オスは1回「クアー」
メスは2回「クアッ クアッ」
鳴き声が違うんだね。
これぞ「愛の鳴き交わし」



⑧ 北海道道産動物

[フクロウ・野鳥・リス・
キツネ・タヌキ]

「旭川の鳥」って何だろう?
ヒントは「黄色い尾羽根で
BOOM BOOM BOOM」



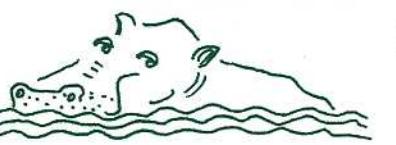
㉓こども牧場

ピーグル犬の「ピー」と
アヒルの「ガースケ」は
大の仲良し♥
こども牧場のアイドルです。



㉐ カバ

カバはブルーが大好き。
鼻と目と耳だけ出して
ジーっとあなたを見ています。



⑯ ホッキョクグマ

メスのコユキは野菜
大好き! ハクサイ・リンゴ
バリバリ食べる!



⑮ ダチョウ・エミュー

食事中のダチョウの
首をよく見てごらん。
餌が通っていくのがわかるかな?



⑯ サルアパート

昨年生まれたコロブス・
プラッザ・テナガの子
どもは、みんな元気に
成長しています。



⑮ チンパンジー

5才のシンバはワン
パク盛り。みんなに
ちょっとかいたしては
怒られる毎日です。



⑭ オランウータン

センタロウは尻にしかれ氣味。
「リアン もうちょっと
優しくして~」



⑬ フタコブラクダ・ドブラ

ラクダは、毛皮のコートを脱ぐ季節。



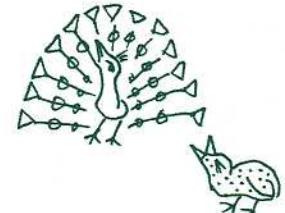
⑫ エゾシカ

以外とカワイイ声で
鳴くんだよ! 「ミー」



⑩ キジ・クジャク舎

せっかくボクが羽を広げて
プロポーズしてるのに、
じゃましないでくれる?
ホロホロチョウくん



⑪ ワピチ

ツノが落ちるとたちまち
弱気になるワピチ。
ちなみに今年は3月26日に
落ちました。

飼育研究レポート

旭山動物園には約15カ所の獣舎があります。当然、中で飼っている動物はその獣舎ごとに違いますが、多くの獣舎で共通して飼育(?)している動物がいます。それはネズミです。ネズミは動物の残した餌を食べて、暖房の入った暖かい部屋の屋根裏で快適生活しているのです。ふだんはあまり悪さをしないネズミでも、動物の残餌が無くなると、飼育動物さえも襲って、殺してしまう悪魔に変化するのです。その他にも、寄生虫を獣舎に運んだり、断熱材を剥がしたり、人を脅かしたり…と悪事を挙げればきりがありません。そんな悪事を許しておけない僕らは、日々網を張ってネズミの侵入を防いだり、巣を取り除いたり、時には駆除したりと、飼育係の仕事はネズミとの格闘でもあるのです。

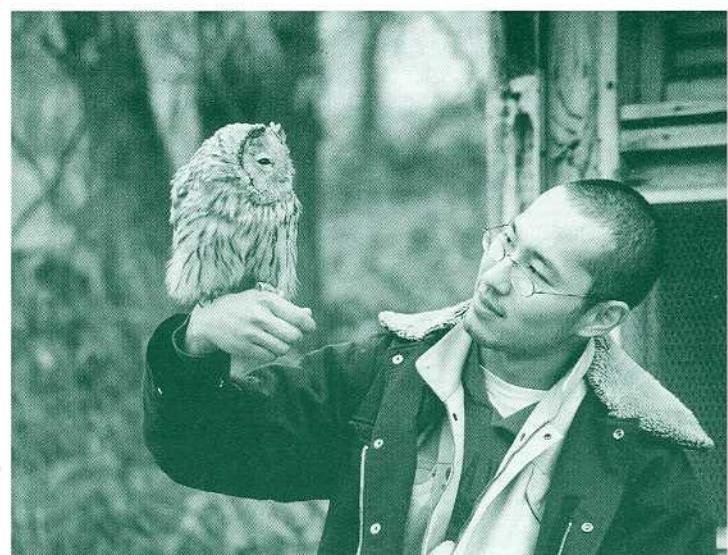
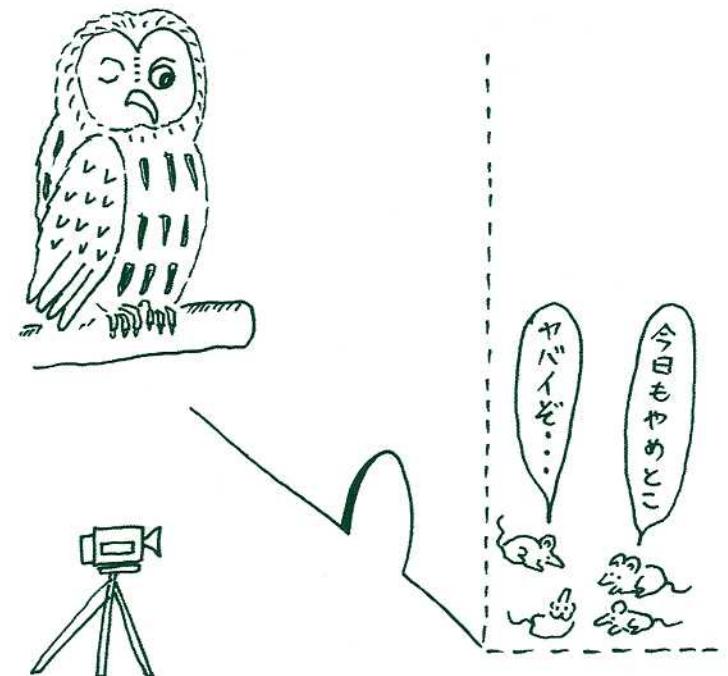
ある夜、僕は鶴鳩舎に行き、とてつもない光景を目にしてしまいました。それはネズミ、ネズミ、ネズミ…いたる所にネズミが出ていたのです。今までネズミは何回も見ていきましたが、1日せいぜい1、2匹しか見ていなかったのであまりの数に、さすがに驚きました。

そして次の日から『鶴鳩舎ネズミ一掃大作戦』が始まったのです。今までのネズミ捕りを使った駆除方法ではすぐに学習され、1週間ほどで効果がなくなっていたので、なにか他の駆除方法を考え出す必要がありました。当時僕は保護動物を担当しており、エゾフクロウの飼育をしていました。考えてみると、エゾフクロウの野外での餌は野ネズミ…という事はフクロウを鶴鳩舎の中に放せば、ネズミを捕り、数が減るのではないか?幸い放鳥予定のエゾフクロウが4羽いたので、リハビリがてらにやってみようと思ったのです。しかしこのエゾフクロウ、保護されてから1年近くが経過しており、生きたネズミを捕る事を忘れていたので、ネズミ駆除に最適か疑問を持っていました。

まずはフクロウをいれる前に現在の現状を知る必要があるので24時間、赤外線カメラでネズミの個体数を数える調査をしました。調査の結果Pm 5:00からAm 5:00頃まで断続的に出てきていて、個体数が増すのはPm 6:00からAm 2:00までの間に数は50匹ほどが現れるという事が分かりました。

早速次の日、4羽のフクロウを獣舎の中に入れ、赤外線カメラで録画し結果を待ちました。予想では2週間ほどで生きたネズミを捕れるようになり、それから徐々に数を減らしていくと思っていたが次の日、記録していたビデオを見て驚きました。フクロウがネズミを捕った訳ではないのに前日までいた50匹近くのネズミが2、3匹に減っていました。ネズミにとってフクロウは、見るのも嫌なぐらい恐ろしい存在だったのです。その後もエゾフクロウのリハビリを含めたネズミ一掃大作戦を続け、1ヶ月後には完全にネズミの姿が見られなくなりました。見事作戦を成功させ、リハビリの完了した4羽のエゾフクロウを野外に放鳥しこれで一件落着と思っていました。

しかし甘かったのです。フクロウがいなくなったとたん、みるみるうちにネズミの数が増えていき、すっかり以前と同じ数に戻ってしまったのです。やはりネズミもバカではなく、自分の天敵がいると行動範囲を変えさせてこなくなり、いなくなるとまた出てくる。これからも僕ら飼育係とネズミとのいたちごっこは続きそうです。(木樽)



	s	m	t	w	t	f	s
2000							
4	2	3	4	5	6	7	8
	9	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
	23	24	25	26	27	28	29
	30						
5	1	2	3	4	5	6	
	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27
	28	29	30	31			
6	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	29	30	
7	2	3	4	5	6	7	8
	9	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
	23	24	25	26	27	28	29
	30	31					
8	6	7	8	9	10	11	12
	14	15	16	17	18	19	20
	20	21	22	23	24	25	26
	27	28	29	30	31		
9	3	4	5	6	7	8	
	10	11	12	13	14	15	
	17	18	19	20	21	22	
	24	25	26	27	28	29	
10	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
	29	30	31				
11	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24	25
	26	27	28	29	30	31	
12	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30
2001	1	2	3	4	5	6	
	7	8	9	10	11	12	
	14	15	16	17	18	19	
	21	22	23	24	25	26	
	28	29	30	31			
1	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	29	30	
2	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	29	30	
3	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	29	30	

旭山動物園行事年間予定表

2000年

4/29(土) 開園
動物園香まつり(4/29~5/7)
動物小物アートコンテスト開催(4/29~10/22)
動物園植物スランクル系収受(4/29~8/31)
5/13(土) 猿本の読み聞かせ(旭川総本の会) 11:00~
5/14(日) ワンポイントガイド(毎週日曜・祝日) 11:00~
5/21(日) 野鳥観察会
6/1(火) 児童動物園ワークショップ(6/1~8/17)
6/11(土) 猿本の読み聞かせ(11:00~
(4/18, 25日)
6/10(土) 動物園施設探検会
6/24(土) フクロウ観察会
7/2(日) ワンポイントガイド(2日: 9月, 16日, 20日)
7/8(土) 猿本の読み聞かせ(旭川総本の会) 11:00~
7/23(木) 動物園講習会(第2回)
8/1(火) サマースクール(小学5、6年生対象)(1~3)
8/6(日) 猿子動物園(第3回)
8/14(日) ワンポイントガイド(11:00~
(20/8, 27日)
8/12(土) 夜の動物園(12~16)
9/1(土) 猿本の読み聞かせ(旭川総本の会) 11:00~
8/13(日) 猿本の読み聞かせ(旭川総本の会) 11:00~
8/2(日) 蟻き虫屋(8/2~7/17)
9/3(日) ワンポイントガイド(11:00~
(3日: 10月, 15日, 17日, 23日, 24日)
9/9(土) 猿本の読み聞かせ(旭川総本の会) 11:00~
9/17(日) 動物園講習会(17~24)
10/1(日) ワンポイントガイド(11:00~
(2日: 8月, 9月, 15日)
10/14(土) 動物園講習会(ランクル表形式)
猿本の読み聞かせ(旭川総本の会) 11:00~
10/22(日) さよならゲーム大会
11/3(金) 冬期開園(11/3~3/27 毎週水・木曜休館
ただし11/23休館) 11/24休館 12/30~1/1休館)
11/5(日) フォトコンテスト開催
12/9(土) 猿本の読み聞かせ(旭川総本の会) 12:15~
※パンギン館オープン 2000年秋(予定)
2001年

1/28(日) 各の動物園講習会
1/25(日) 各の動物園講習会
3/10(土) 猿本の読み聞かせ(旭川総本の会) 12:15~
3/25(日) 各の動物園講習会
3/27(火) 多期開園

*開園は4月29日、閉園は10月22日です★
旭川市旭山動物園
078-8205 旭川市東旭川町倉沼 ☎(0166)36-1104

Illustration: Abe Hiroshi

Q

ク

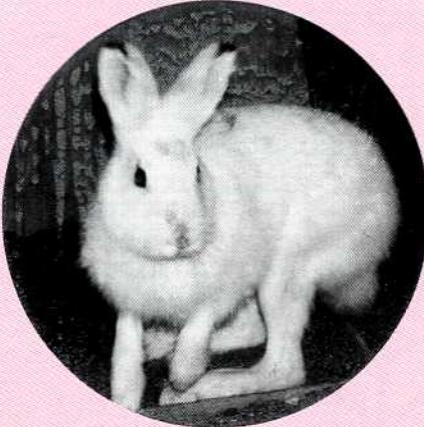
イ

ズ

Q

みなさん、ウサギのウンチって見たことがありますか？黒くて、まん丸く小さいのをポロポロとたくさんします。さて、旭山動物園で飼育されているユキウサギくん。一頭が一日に出すウンチは何つぶぐらいでしょうか？ちょっとむずかしい？！

- ① 約40つぶ
- ② 約400つぶ
- ③ 約4,000つぶ



正解者の中から抽選で3名の方に旭山動物園特製エゾシカの角キーホルダーが当たります。

応募方法はハガキに答と住所、氏名、年齢、電話番号を書いて、旭山動物園モユク・カムイ係までお送り下さい。

応募〆切 2000年6月30日

飼育動物数

(5月1日現在)

ほ乳類	50種	186点
鳥類	97種	538点
爬虫類	13種	46点
合計	160種	770点

編集後記

ペンギン館オープンに向けて続々とペンギンが来園しています。現在キングペンギン12羽、ジェンツーペンギン6羽を動物病院で飼育しています。残念ながらみなさ

んとお会いできるのは9月中旬のオープンの時になりそうです。今から冬が楽しみです。

モユクカムイもますます充実させたいなと決意を新たにしています。ホームページも紙面一新ぜひ見て下さい。

モユク・カムイ No.58 平成12年5月1日

発行所 旭川市旭山動物園 ☎078-8205 旭川市東旭川町倉沼 ☎0166-36-1104
 発行 小菅正夫 <http://www.arc-net.co.jp/kodoka/shoukou2/sc02.html>
 編集委員 中田真一・坂東元
 印刷 谷川印刷株式会社 ☎070-0831 旭川市旭町1条4丁目 ☎0166-51-0653

主なできごと

- 12月7~9日 第47回動物園技術者研究会
(横浜市立金沢動物園)
「アミメキリンの削蹄を目的としたキシラジン・ケタミンを用いた麻酔例」「アカゲラの自然繁殖について」
2題発表
- 12月9日 アカクビワラビー♂
トキソプラズマ症で死亡
- 12月14日 ホッキョクグマ出産 16日死亡
- 12月19日 ライオン仔 ワクチン・駆虫
- 12月26日 オセロット♂糖尿病で死亡
- 1月7日 エゾシカ直腸脱・壊死のため死亡
- 1月26日 オジロワシ♂福岡市動植物園に寄贈
- 1月30日 冬の動物園観察会
- 2月27日 冬の動物園観察会
- 3月11日 井の頭自然文化園より
小型カモ類25羽受贈
- 3月25日 ジエンツーペンギン6羽豊橋総合
動植物公園より借り受け
- 3月26日 冬の動物園観察会
- 3月28日 冬期開園モデル事業終了
- 4月3日 開園準備作業開始
- 4月15日 キングペンギン入園
- 4月29日 開園

